

第2節 道路交通

現状と課題

道路は、住民生活と産業活動を支え、また、災害時には避難路ともなる重要な都市基盤であり、沿道の活用も含めうるおいのある生活を営むための大切な空間でもあります。

本町の道路体系は、南北に縦断する国道24号、京奈和自動車道、本町と周辺市町村を東西に結ぶ主要地方道桜井田原本王寺線を中心に、その他生活幹線としての一般県道6路線と町道があります。

しかし、交通量の増加に伴い、国道24号だけでは十分に対応できない現状にあり、京奈和自動車道の整備により、和歌山・京都方面との広域道路ネットワークも可能になることから、事業整備の早期完成を促進する必要があります。

さらに京奈和自動車道には田原本インターチェンジが計画されており、これにより、本町も高速ネットワークへのアクセス機能をもつことになるため、この機能を十分に発揮できるよう、町内道路網の整備を充実させていく必要があります。

町道については、未改良箇所を順次改良を進めていくとともに、幹線道路を軸として町域の一体的で有機的な道路網が形成されるよう、整備を進める必要があります。

また、今後の道路整備にあたっては、子どもや高齢者をはじめすべての人に安全な道路、環境や防災に配慮した道路など、広域的整備が求められています。

道路交通

高速交通網の整備促進

幹線道路網の整備

生活道路網の整備

施 策**1. 高速交通網の整備促進****①京奈和自動車道の整備促進**

京奈和自動車道へのアクセス道の整備などについて、国・県などの関係機関に要請するとともに、事業実施にあたっての周辺地域の生活環境への配慮や環境保全対策など、利便性や快適性向上への取り組みを要望します。

2. 幹線道路網の整備**①国道の整備促進**

国道24号及び主要地方道桜井田原本王寺線の整備促進を要望します。また、京奈和自動車道を活用した、広域道路ネットワークの充実を図ります。

②県道・主要地方道の整備促進

県道・町道の整備促進をはじめ、近隣市町村、工業地帯などを結ぶ道路網の整備を促進するとともに、町内幹線道路ネットワークの充実を要望します。

③道の駅の整備

人・もの・情報の交流拠点として、唐古・鍵遺跡とのつながりをもった道の駅の整備を検討します。

3. 生活道路網の整備**①生活道路の整備**

集落間や公共施設間を結ぶため、関係自治会、地権者の協力を得て生活道路の整備を図ります。

②歩道の整備

通勤・通学などの自転車、歩行者の安全を図るため、歩道の整備を進めます。

③交差点、歩道などのバリアフリー化

高齢者や障害者の利便性や快適性の向上に向け、道路環境のバリアフリー化に努めます。

④幅員等の整備

市街地の主要交差点の改良や、幅員等の整備を進めます。